

夏が来た

上信会越／谷川連峰 湯檜曾川西黒沢

朝目覚めると、外はしっかり雨。予定していた井戸小屋沢はあきらめ、大田原リーダーが2012年に訪れたことのある西黒沢へ転進となった。

西黒沢は打って変わって快晴であった。入渓後直ぐの白鷺滝 8Mを左から登る。登れる小滝と緩いナメが続き、積極的に水を浴びながら進む。ラバーソールのフリクションもバッチリで快適。

【日程】

2016年7月10日(日)

【メンバー】

大田原(L)、栗原、森山、竹澤

【グレード】

2級

【地形図】

水上

【記】竹澤



明るく開けた溪相

途中、大田原さんより待ったがかかる。ザンゲ沢に入ってしまったとのこと。稜線に向かって堂々と突き上げているので本流と錯覚してしまうが、そうではないらしい。少し戻り、先に通り過ぎた左の本流へ入り直す。

50M連瀑帯を超えるとスノーブリッジが現れた。急いで潜り抜けた後は、いくつもの巨大な雪塊が6M滝の手前を塞いでいた。大田原さんが、雪塊の隙間を縫うように左岸のリッジに取り付き滝をクリア。他のメンバーも後に続く。

後に現れた8M滝が悪そうなので、森山さんがロープを引いていく。滝の左壁から右上がりに水線へ。3番手の私は、滝をまたぐ所で苦戦しワンテンしてしまった。風と飛沫にさらされ一気に体が冷えたので、滝上でしばし甲羅干し休憩を取る。再び濡れるのを嫌って次のCS滝は右岸から巻く。

その先は、右岸から滝が落ちている。沢床は高く見えるが、こちらが本流とのことで左へ進路を取る。源頭をつめると、穏やかな草原に出た。目と鼻の先には登山道に行くハイカーが見える。時間もあるし、そよ風はあまりにも気持ち良い。全員でごろんと寝転がりお昼寝タイムに突入。至福の時を過ごした後は、ハイカーで大・大・大渋滞の天神尾根から田尻尾根を下山した。

青空の下でシャワークライム三昧。夏の始まりを感じさせる、爽快な一本であった。



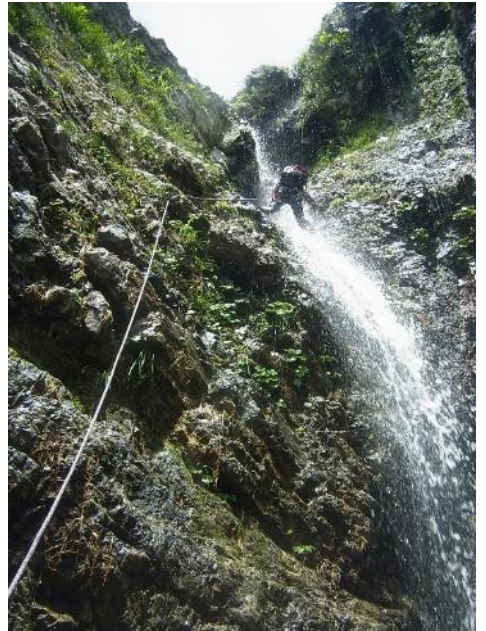
積極的にシャワークライム

【行程】

谷川岳ベースプラザ (7:50) ～入渓 (8:00) ～核心の8M滝 (11:35) ～遡行終了 (登山道手前の草原) (13:05) ～天神尾根～田尻尾根～谷川岳ベースプラザ (16:30)



雪塊の隙間を縫って取り付く



核心の8M滝

2016.7.9
 谷川連峰 西黒沢
 (作図: 森山)

